



2021年5月14日

各 位

会 社 名	REXT 株式会社
代 表 者	代表取締役社長 内藤 雅義 (コード番号：7697 JASDAQ)
問 合 せ 先	取締役経営戦略部長 村瀬 伸行
電 話 番 号	029-879-7030

上場廃止となった子会社（株式会社ワンダーコーポレーション、株式会社HAP i NS及び株式会社ジーンズメイト）に関する決算開示について

2021年4月1日付で当社の子会社となりました、株式会社ワンダーコーポレーション、株式会社HAP i NS及び株式会社ジーンズメイトに関する2021年3月期決算短信（2020年4月1日～2021年3月31日）について、別紙のとおりお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う3度目の緊急事態宣言の発出ならびに延長、更に、まん延防止等重点措置などの適用地域の全国的な拡大等による、事業活動及び経営成績に与える影響が大きいことから、現時点において業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であるため、今回の業績予想を開示しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

以 上

(参考) 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社ワンダーコーポレーション 上場取引所 —
 コード番号 — URL <http://www.wonder.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 雅義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮本 正明 (TEL) 029-879-7030
 定時株主総会開催予定日 — 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	56,032	△8.5	1,602	25.4	1,633	25.1	871	△11.0
2020年3月期	61,207	—	1,277	—	1,306	—	978	—

(注) 包括利益 2021年3月期 1,484百万円(46.6%) 2020年3月期 1,012百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	115.32	—	11.7	5.9	2.9
2020年3月期	129.52	—	15.8	4.6	2.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 -百万円 2020年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	28,540	8,653	28.8	1,145.38
2020年3月期	27,248	7,000	24.5	881.95

(参考) 自己資本 2021年3月期 8,046百万円 2020年3月期 6,663百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,392	8	△704	5,741
2020年3月期	404	139	△1,838	4,044

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	0.0	—	0.0	—	0.0	—	—	—
2021年3月期	0.0	—	0.0	—	0.0	—	—	—
2022年3月期(予想)	0.0	—	0.0	—	0.0	—	—	—

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

株式会社ワンダーコーポレーションは、2021年3月30日付で上場を廃止していることから業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	7,554,938株	2020年3月期	7,559,184株
② 期末自己株式数	2021年3月期	-株	2020年3月期	3,581株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	7,555,245株	2020年3月期	7,555,459株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（共同持株会社設立（共同株式移転）による経営統合について）

株式会社HAPINS、株式会社ジーンズメイトおよび当社は、2021年4月1日をもって、共同株式移転の方式により3社の完全親会社となるREXT株式会社（読み：レクストかぶしきがいしゃ）を設立いたしました。

株式会社ワンダーコーポレーションは所定の手続きを経て2021年3月30日付で上場廃止となり、2021年4月1日をもって、REXT株式会社の完全子会社となりました。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当連結会計年度の業績全般の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策等により、一時持直しの動きが見られたものの、感染が再拡大しており、先行きは不透明な状況が続いております。感染の動向が内外経済に与える影響や金融資本市場の変動などにも注視する必要があります。

エンターテインメント市場においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、ゲーム等のパッケージ商材や書籍を中心とした巣ごもり商材の需要が依然として高い水準を維持しております。長期化するウィズコロナ時代において、デジタルコンテンツやインターネット販売をはじめとする新しい生活様式に合致した非対面分野へのシフトチェンジなど、購買行動の変化が急激に進んでおります。また、リユース市場においては、個人間売買やネット販売等はサービスの多様化等により更に活性化しており、非対面分野への適応が一層求められています。

このような状況の中、当社グループは既存店舗における不採算アイテムの縮小・撤退および収益力の高い商品・サービスの導入を推進し、新しい生活様式に合致したイベントを開催するなど、新たな収益体制の構築を進めるとともに、様々なコストの抑制・低減に努めることで収益基盤の強化を図りました。

当社グループにおける当連結会計年度末の店舗数は、WonderG00事業53店舗（内、F C 7店舗）、WonderREX事業43店舗（内、F C 2店舗）、TSUTAYA事業75店舗、新星堂事業61店舗、その他事業21店舗、合計253店舗となりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は56,032百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益1,602百万円（前年同期比25.4%増）、経常利益1,633百万円（前年同期比25.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益871百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

② 当連結会計年度の報告別セグメントの概況

<WonderG00事業>

WonderG00事業におきましては、従来の仕入型小売業から脱却し、安定した収益構造を確立するため、不採算部門の撤退縮小や収益力の高い事業の導入および組織変更による人員の適正化など、構造改革を遂行することで収益を大幅に改善致しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響によりゲームソフトや書籍などの巣ごもり商材の需要が高い水準で推移したことに加え、新型ゲームハードの発売、人気コミックス作品および関連商品の需要の高騰などの寄与も重なり、好調に推移致しました。

これらの結果、WonderG00事業の売上高は29,086百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益1,897百万円（前年同期比131.4%増）となりました。

<WonderREX事業>

WonderREX事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により常態化した外出自粛等の影響から、当事業の主力であるブランド宝飾品や服飾品などの販売が低調に推移致しました。そのような中、2020年10月1日に自社運営のECサイト「REXT ONLINE」をオープンし、自社運営のメリットを活かして店舗とEC販売の連携の強化と収益の最大化に向けて取り組んでまいりました。また、低投資で買取に特化した新業態店舗「買取王 REXT」を10店舗出店致しました。さらに買取チャネルの多様化施策として、買取鑑定会イベントや一軒丸ごと買取、出張買取などに注力致しました。今後につきましても、お客様の様々なニーズに応えるべく、非対面分野への取り組みと買取訴求の強化を推進してまいります。

これらの結果、WonderREX事業の売上高は7,220百万円（前年同期比10.3%減）、営業損失292百万円（前年同期は247百万円の営業利益）となりました。

<TSUTAYA事業>

TSUTAYA事業におきましては、足元では感染症拡大の影響によりゲーム、書籍などの巣ごもり商材が好調に推移した為、業績は大幅に改善いたしました。一方で、これまで主力としてきた映像・音楽レンタルの市場は急速に縮小しております。このような厳しい環境に対応すべく、不採算店舗の閉店および業態変更、トレーディングカード専門店「バトロコ」2店舗の出店など、収益改善に取り組んでまいりました。

これらの結果、TSUTAYA事業の売上高は12,870百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益339百万円（前年同期比197.5%増）となりました。

<新星堂事業>

新星堂事業におきましては、感染症の拡大対策を講じたリアルイベントの開催に留まらず、オンラインの利点を活かしたライブ配信とEC販売の融合イベント、インターネットサイン会やオンライントークイベント、ドライブインシアターなどの新しい生活様式に合致したイベントを多数実施してまいりました。今後についても、長期化するウィズコロナ時代、或いはその先のアフターコロナ時代に適応したイベント形態や、新たな事業モデルを確立し、収益の向上に取り組んでまいります。

これらの結果、新星堂事業の売上高は6,268百万円（前年同期比35.9%減）、営業損失361百万円（前年同期は172百万円の営業利益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、19,106百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,720百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,696百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、9,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ427百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が452百万円、無形固定資産が54百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、14,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,415百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が1,780百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、5,536百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,054百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る負債が527百万円減少したものの、長期借入金が1,696百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、8,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,653百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る調整累計額の増加が681百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が871百万円発生したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,696百万円増加し、5,741百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に、税金等調整前当期純利益954百万円、減価償却費679百万円、未払費用の増加により450百万円資金が増加したため、2,413百万円の資金の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に、有形固定資産の取得319百万円により資金が減少したものの、敷金及び保証金の回収475百万円により資金が増加したため、8百万円の資金の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に、長期借入れによる収入により2,504百万円資金が増加したものの、長期借入金の返済により1,113百万円、短期借入金の減少1,780百万円資金が減少したため、704百万円の資金の減少となりました。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社では、日本基準を適用し財務諸表を作成しております。現在、IFRSの任意適用の要否について検討を行っております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,044,812	5,741,687
売掛金	1,501,174	1,306,812
商品	10,474,812	10,549,666
貯蔵品	16,153	18,215
未収入金	548,186	495,600
その他	805,817	1,000,174
貸倒引当金	△5,015	△5,827
流動資産合計	17,385,940	19,106,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,507,054	2,267,169
機械装置及び運搬具（純額）	434	260
工具、器具及び備品（純額）	435,935	441,971
土地	1,098,385	1,098,385
リース資産（純額）	208,879	149,134
建設仮勘定	159,262	766
有形固定資産合計	4,409,951	3,957,688
無形固定資産		
のれん	45,477	22,163
その他	221,219	190,518
無形固定資産合計	266,696	212,681
投資その他の資産		
投資有価証券	4,923	4,380
敷金及び保証金	4,279,133	3,896,571
繰延税金資産	452,406	630,815
退職給付に係る資産	—	190,102
その他	532,542	616,860
貸倒引当金	△83,461	△74,754
投資その他の資産合計	5,185,544	5,263,977
固定資産合計	9,862,192	9,434,346
資産合計	27,248,133	28,540,676

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,196,611	4,193,342
短期借入金	7,780,000	6,000,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	984,308	679,096
リース債務	249,316	144,433
未払金	356,947	263,525
未払費用	1,229,655	1,780,894
未払法人税等	160,697	154,589
未払消費税等	137,290	491,491
賞与引当金	175,716	157,380
転貸損失引当金	—	39,550
その他	435,087	386,180
流動負債合計	15,765,631	14,350,485
固定負債		
社債	130,000	70,000
長期借入金	1,736,962	3,433,232
リース債務	497,076	354,427
退職給付に係る負債	527,395	—
長期預り保証金	419,867	440,654
資産除去債務	800,193	815,635
転貸損失引当金	—	92,065
その他	370,936	330,884
固定負債合計	4,482,431	5,536,899
負債合計	20,248,063	19,887,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,185,550	100,000
資本剰余金	3,298,885	6,380,098
利益剰余金	110,047	981,342
自己株式	△4,112	—
株主資本合計	6,590,372	7,461,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122	31
退職給付に係る調整累計額	72,946	753,959
その他の包括利益累計額合計	73,069	753,991
非支配株主持分	336,628	437,858
純資産合計	7,000,070	8,653,290
負債純資産合計	27,248,133	28,540,676

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	61,207,912	56,032,081
売上原価	38,574,850	36,028,096
売上総利益	22,633,061	20,003,985
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	777,104	746,337
物流費	152,511	159,970
従業員給料及び賞与	8,586,590	6,957,161
賞与引当金繰入額	209,168	189,302
退職給付費用	154,229	150,208
福利厚生費	1,222,638	1,059,119
水道光熱費	825,474	654,796
減価償却費	705,617	660,727
地代家賃	4,497,168	3,952,449
リース料	130,919	99,965
支払手数料	2,260,447	2,457,528
その他	1,833,532	1,314,196
販売費及び一般管理費合計	21,355,402	18,401,766
営業利益	1,277,658	1,602,218
営業外収益		
受取利息	25,607	21,878
受取配当金	292	216
資産除去債務戻入益	30,991	41,255
その他	125,577	104,039
営業外収益合計	182,468	167,390
営業外費用		
支払利息	129,254	110,013
その他	24,816	25,686
営業外費用合計	154,070	135,699
経常利益	1,306,056	1,633,910
特別利益		
固定資産売却益	44,389	1,244
受取補償金	—	56,824
店舗譲渡益	6,000	—
特別利益合計	50,389	58,068
特別損失		
固定資産除却損	5,574	38,167
減損損失	257,059	146,641
賃貸借契約解約損	29,134	—
転貸契約等損失	—	131,616
店舗閉鎖損失	—	50,548
新型コロナウイルス感染症による損失	—	90,261
特別退職金	—	227,348
その他	3,439	53,173
特別損失合計	295,207	737,757
税金等調整前当期純利益	1,061,238	954,222

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
法人税、住民税及び事業税	165,219	160,067
法人税等調整額	△155,047	△178,370
法人税等合計	10,172	△18,302
当期純利益	1,051,065	972,524
非支配株主に帰属する当期純利益	72,495	101,230
親会社株主に帰属する当期純利益	978,570	871,294

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,051,065	972,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△327	△90
退職給付に係る調整額	△38,631	511,801
その他の包括利益合計	△38,959	511,710
包括利益	1,012,106	1,484,235
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	939,611	1,383,005
非支配株主に係る包括利益	72,495	101,230

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有 価証券 評価差額 金	退職給付に 係る 調整累計額	その他の包 括利益 累計額合計		
当期首残高	3,185,550	3,298,885	△868,522	△3,901	5,612,012	450	111,578	112,028	264,133	5,988,174
当期変動額										
親会社株主に帰属 する当期純利益			978,570		978,570					978,570
自己株式の取得				△210	△210					△210
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)						△327	△38,631	△38,959	72,495	33,535
当期変動額合計	—	—	978,570	△210	978,360	△327	△38,631	△38,959	72,495	1,011,895
当期末残高	3,185,550	3,298,885	110,047	△4,112	6,590,372	122	72,946	73,069	336,628	7,000,070

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有 価証券 評価差額 金	退職給付に 係る 調整累計額	その他の包 括利益 累計額合計		
当期首残高	3,185,550	3,298,885	110,047	△4,112	6,590,372	122	72,946	73,069	336,628	7,000,070
当期変動額										
親会社株主に帰属 する当期純利益			871,294		871,294					871,294
自己株式の取得				△225	△225					△225
自己株式の消却		△4,338		4,338	—					—
減資	△3,085,550	3,085,550			—					—
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)						△90	681,012	680,921	101,230	782,151
当期変動額合計	△3,085,550	3,081,212	871,294	4,112	871,068	△90	681,012	680,921	101,230	1,653,220
当期末残高	100,000	6,380,098	981,342	—	7,461,441	31	753,959	753,991	437,858	8,653,290

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,061,238	954,222
減価償却費	729,023	679,699
減損損失	257,059	146,641
のれん償却額	40,984	23,313
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,303	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,467	△18,336
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△29,107	153,617
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△190,102
受取利息及び受取配当金	△25,899	△22,095
支払利息	129,254	110,013
資産除去債務戻入益	△30,991	△41,255
固定資産売却損益 (△は益)	△44,189	14,767
固定資産除却損	5,574	38,167
賃貸借契約解約損	29,134	—
店舗譲渡益	△6,000	—
転貸契約等損失	—	131,616
店舗閉鎖損失	—	50,548
受取補償金	—	△56,824
新型コロナウイルス感染症による損失	—	90,261
特別退職金	—	227,348
売上債権の増減額 (△は増加)	△130,660	194,361
たな卸資産の増減額 (△は増加)	161,175	△76,915
仕入債務の増減額 (△は減少)	△848,278	△3,268
未払費用の増減額 (△は減少)	△349,695	450,840
未払金の増減額 (△は減少)	△110,860	105,877
その他	50,430	△94,304
小計	893,355	2,868,194
利息及び配当金の受取額	1,731	2,087
利息の支払額	△132,111	△145,789
法人税等の支払額	△358,372	△77,917
補償金の受取額	—	56,824
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	—	△83,060
特別退職金の支払額	—	△227,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	404,602	2,392,991

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	673,395	
有形固定資産の取得による支出	△812,586	△319,585
有形固定資産の売却による収入	39,671	2,955
無形固定資産の取得による支出	△100,276	△34,878
資産除去債務の履行による支出	△132,117	△39,598
投資有価証券の売却による収入	4,605	—
貸付金の回収による収入	28,442	8,162
貸付けによる支出	△70,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△83,726	△57,067
敷金及び保証金の回収による収入	630,011	475,940
店舗譲渡による収入	6,000	—
営業譲受による支出	—	—
その他	△43,553	△27,802
投資活動によるキャッシュ・フロー	139,866	8,125
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△170,000	△1,780,000
長期借入れによる収入	506,480	2,504,566
長期借入金の返済による支出	△1,477,387	△1,113,507
社債の償還による支出	△260,000	△60,000
リース債務の返済による支出	△437,612	△255,046
自己株式の取得による支出	△210	△225
配当金の支払額	△10	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,838,740	△704,240
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,294,271	1,696,875
現金及び現金同等物の期首残高	5,339,083	4,044,812
現金及び現金同等物の期末残高	4,044,812	5,741,687

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、営業本部を置き、商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは営業本部を基礎とした商品・サービス別セグメントから構成されており、「WonderG00事業」、「WonderREX事業」、「TSUTAYA事業」及び「新星堂事業」の4つを報告セグメントとしております。

「WonderG00事業」は、ゲームソフト、音楽ソフト、映像ソフト、書籍、化粧品、携帯電話等の小売販売及びレンタル、また、それら商品の一部をF Cへ卸売をしております。「WonderREX事業」は、ブランド品、貴金属、衣料、服飾雑貨、オーディオ・家電等のリユース商品の買取・販売をしております。「TSUTAYA事業」はゲームソフト・映像ソフト・音楽ソフト・雑誌の販売及び映像ソフト・音楽ソフトのレンタルを行っております。「新星堂事業」は、音楽ソフト、映像ソフト等の小売販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	29,050,343	8,046,094	13,456,516	9,780,371	60,333,326	874,585	61,207,912	-	61,207,912
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	131,642	-	-	-	131,642	69,962	201,604	△201,604	-
計	29,181,985	8,046,094	13,456,516	9,780,371	60,464,968	944,548	61,409,516	△201,604	61,207,912
セグメント利益 又は損失 (△)	820,091	247,640	114,198	172,510	1,354,440	△47,585	1,306,855	△29,196	1,277,658
セグメント資産	10,273,734	3,944,548	4,726,823	3,530,376	22,475,483	1,734,677	24,210,160	3,037,972	27,248,133
その他の項目									
減価償却費	279,560	128,238	144,316	46,322	598,437	60,304	658,741	70,281	729,023
のれんの償却額	-	-	40,984	-	40,984	-	40,984	-	40,984
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	269,428	168,339	67,059	176,323	681,151	165,136	846,287	124,209	970,496

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額△29,196千円は、セグメント間取引41,778千円、及び全社費用△70,975千円です。なお、全社費用は全社資産に係る減価償却費であります。

(2) セグメント資産の調整額3,037,972千円は、主に報告セグメントに配分していない全社資産であります。なお、全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金預金等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産124,209千円です。全社資産は主に報告セグメントに帰属しないソフトウェア等です。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	29,086,507	7,220,053	12,870,086	6,268,951	55,445,599	586,481	56,032,081	-	56,032,081
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	152,608	-	-	-	152,608	65,763	218,372	△218,372	-
計	29,239,116	7,220,053	12,870,086	6,268,951	55,598,208	652,245	56,250,454	△218,372	56,032,081
セグメント利益 又は損失 (△)	1,897,836	△292,385	339,692	△361,417	1,583,724	9,627	1,593,352	8,866	1,602,218
セグメント資産	8,475,544	4,978,000	4,191,720	3,834,735	21,480,000	1,751,486	23,231,486	5,139,978	28,371,465
その他の項目									
減価償却費	272,032	141,511	124,635	42,963	581,143	3,153	584,296	76,430	660,727
のれんの償却額	-	-	23,313	-	23,313	-	23,313	-	23,313
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	51,490	148,507	66,838	47,768	314,604	138,586	453,191	54,347	507,539

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額8,866千円は全社費用です。なお、全社費用は全社資産に係る減価償却費であります。

- (2) セグメント資産の調整額5,139,978千円は、主に報告セグメントに配分していない全社資産であります。なお、全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金預金等であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産54,347千円であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しないソフトウェア等であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計			
減損損失	36,895	11,895	4,931	24,311	78,034	179,024	—	257,059

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計			
減損損失	69,001	—	77,639	—	146,641	—	—	146,641

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計			
当期償却額	—	—	40,984	—	40,984	—	—	40,984
当期末残高	—	—	45,477	—	45,477	—	—	45,477

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計			
当期償却額	—	—	23,313	—	23,313	—	—	23,313
当期末残高	—	—	22,163	—	22,163	—	—	22,163

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	881円95銭	1,122円98銭
1株当たり当期純利益	129円52銭	115円32銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	7,000,070	8,484,079
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	336,628	437,858
(うち非支配株主持分(千円))	(336,628)	(437,858)
普通株式に係る純資産額(千円)	6,663,441	8,484,079
普通株式の発行済株式数(株)	7,559,184	7,554,938
普通株式の自己株式数(株)	3,856	—
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	7,555,328	7,554,938

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益	978,570	871,294
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	978,570	871,294
普通株式の期中平均株式数(株)	7,555,459	7,555,245

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(参考) 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社HAPINS 上場取引所 ー
 コード番号 ー URL https://www.hapins.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柘植 圭介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 塩塚 哲也 (TEL) 03 (3494) 4497
 定時株主総会開催予定日 ー 配当支払開始予定日 ー
 有価証券報告書提出予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,834	△17.9	339	ー	299	ー	42	ー
2020年3月期	8,324	△14.2	12	△90.6	△25	ー	△341	ー

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	2.86	ー	10.4	6.3	5.0
2020年3月期	△23.14	ー	△61.4	△0.5	0.1

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	4,810	428	8.9	28.98
2020年3月期	4,621	385	8.3	26.10

(参考) 自己資本 2021年3月期 428百万円 2020年3月期 385百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	372	△57	221	990
2020年3月期	119	△99	△349	452

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2020年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日~2022年3月31日)

株式会社HAPINSは、2021年3月30日付で上場を廃止していることから業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	14,780,974株	2020年3月期	15,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	－株	2020年3月期	219,026株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	14,780,974株	2020年3月期	14,780,974株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

株式会社ワンダーコーポレーション、株式会社ジーンズメイトおよび株式会社HAP i NSは、2021年4月1日をもって、共同株式移転の方式により3社の完全親会社となるREXT株式会社（読み：レクストかぶしきがいしゃ）を設立いたしました。

株式会社HAP i NSは所定の手続きを経て2021年3月30日付で上場廃止となり、2021年4月1日をもって、REXT株式会社の完全子会社となりました。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による経済活動の抑制により、景気は急速に悪化し極めて厳しい状況となりました。

小売業界におきましては、外出やイベントの開催自粛・参加人数制限の要請等により消費者マインドは引き続き低下傾向にあり、経営環境は厳しい状況が続いております。また、ライフスタイルの変化に伴い、オンラインショッピング（非接触型での買い物）の利用拡大をはじめ、消費者の購買行動はめまぐるしい変化が続いております。

当社におきましても、政府、各自治体による外出自粛要請や緊急事態宣言の発令により、全国に展開しております店舗が、長期の臨時休業ならびに営業時間の短縮を余儀なくされ、店舗への来客数が激減いたしました。

このような経営環境のもと当社は、前事業年度より実施している構造改革である「取り扱いアイテムの縮小」をブラッシュアップし、「お家の中の癒し、くつろぎライフスタイル」をテーマに掲げ、コロナ禍における『巣ごもり需要』にマッチしたMDの強化を推進いたしました。加えて、オリジナルキャラクターのFuku Fuku Nyankoのマーケティング施策を引き続き強化をいたしました。SNS媒体を中心にFuku Fuku Nyanko専用のホームページやTwitter、インスタグラムのアカウントを作成し、認知度向上やファン層拡大を図るとともに、インスタグラムのライブ配信や雑誌への広告掲載、WEB広告などへの投資も積極的に行い、さらなる認知度向上に努めてまいりました。また、非対面事業強化としてEC事業の人員増強、自社オンラインショッピングサイトのリニューアルやオンラインショッピング限定商品の販売なども実施いたしました。売上高は前事業年度と比べ減少いたしました。

利益面では「取り扱いアイテムの縮小」と同時に推し進めてきた構造改革である「PB商品の拡充」や「セール期における売価変更の抑制」が功を奏し粗利益率が前事業年度と比べ4.5%改善いたしました。また、新型コロナウイルス感染症予防策の一環で、テレワークやWEB会議を推進したことにより、コストダウンを実現したことで前事業年度を上回る営業利益を確保いたしました。

当事業年度の出退店の状況は、「HAPiNS」ブランドで直営店3店舗が出店し、直営店20店舗、FCで3店舗が閉店いたしました。「PASSPORT」ブランドでは直営店が4店舗、FCで1店舗が閉店いたしました。「bao-bab.fleur」ブランドでは1店舗が閉店いたしました。更に、直営店2店舗の改装を実施しております。その結果、当事業年度末の店舗数（短期契約を含む）は、直営店が129店舗、FC店舗が6店舗の計135店舗となっております。

これらの結果、当事業年度の売上高は6,834百万円と前事業年度と比べ1,490百万円（17.9%）の減収、営業利益は339百万円と前事業年度と比べ326百万円（前事業年度は12百万円）の増益、経常利益は299百万円と前事業年度と比べ325百万円（前事業年度は経常損失25百万円）の増益、当期純利益は42百万円と前事業年度と比べ384百万円（前事業年度は当期純損失341百万円）の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べて189百万円増加し、4,810百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて567百万円増加し、2,711百万円となりました。これは、主に商品が68百万円減少したものの、現金及び預金が537百万円、売掛金が24百万円、未収入金が48百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて378百万円減少し、2,099百万円となりました。これは、主に有形固定資産が減損損失を計上したことなどにより186百万円、敷金及び保証金が193百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当事業年度末の負債総額は、前事業年度末に比べ146百万円増加し、4,382百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて1百万円増加し、2,751百万円となりました。これは、主に仕入債務である支払手形と電子記録債務の合計で183百万円、買掛金が52百万円、1年内返済予定の長期借入金が52百万円、リース債務が16百万円減少したものの、短期借入金が168百万円、未払費用が37百万円、未払消費税等が30百万円、預り金が64百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて145百万円増加し、1,631百万円となりました。これは、主に社債が30百万円、リース債務が53百万円、長期未払金が32百万円、退職給付引当金が12百万円減少したものの、長期借入金が241百万円、資産除去債務が44百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産は、前事業年度末に比べて42百万円増加し、428百万円となりました。これは、主に当期純利益42百万円の計上したことなどによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は990百万円と前事業年度末と比べ537百万円（前事業年度末は452百万円）の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは372百万円と前事業年度に比べ253百万円（前事業年度は119百万円）の増加となりました。

収入の主な内訳は、税引前当期純利益の計上60百万円、減価償却費の計上198百万円、減損損失の計上108百万円、たな卸資産の減少68百万円などであり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少236百万円、利息の支払額48百万円、法人税等の支払額30百万円などでありあります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△57百万円と前事業年度に比べ42百万円（前事業年度は△99百万円）の支出の減少となりました。

収入の主な内訳は、敷金及び保証金の回収による収入が108百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出36百万円などでありあります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは221百万円と前事業年度と比べ571百万円（前事業年度は△349百万円）の増加となりました。

収入の主な内訳は、短期借入金の純増額168百万円、長期借入による収入550百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出361百万円、社債の償還による支出30百万円、リース債務の返済による支出70百万円、割賦債務の返済による支出35百万円などでありあります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当事業年度においては、営業利益、経常利益および当期純利益を計上しておりますが、前事業年度においては、経常損失及び当期純損失を計上していたことから、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該状況を改善・解消すべく、メインブランドである「HAPiNS」の業態を主軸に、新規出店及び既存店の内装・外観の見直しといったブラッシュアップ、自社オリジナル商品の強化によるブランド力向上に取り組んでおります。

商品におきましては、商品構成の見直し、取扱い商品数の絞り込みによる戦略商品の販売を強化することで粗利益率のさらなる改善に取り組んでおります。また、取扱い商品数が絞りこまれることで、商品補充や在庫管理等、店舗オペレーションの効率化を進めております。

しかしながら、2020年2月より顕著となった新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、その収束時期や収束後の消費活動の見通し等が不透明であります。当社はこの状況下において、実店舗でのお客様と従業員の安全対策を講じるとともに、非対面ビジネスであるオンラインショップへの注力を行い、売上の最大化と収益改善に努めてまいります。

資金面に関しましては、運転資金の調達など取引金融機関からの継続的な支援協力を得ており、加えて納税猶予制度、社会保険料等の納付猶予制度の活用、その他の費用削減等の施策を行い、今後とも資金調達や資金繰りの安定化に努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していること及び国内の同業他社との比較可能性を考慮して、日本基準で財務諸表を作成しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	452,652	990,145
売掛金	342,414	367,356
商品	1,268,376	1,200,375
未着商品	14,744	14,344
貯蔵品	15,335	11,387
前払費用	38,713	32,339
未収入金	7,645	56,378
その他	3,386	38,804
流動資産合計	2,143,267	2,711,132
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,253,107	2,040,715
減価償却累計額	△1,403,415	△1,295,895
建物（純額）	849,691	744,819
工具、器具及び備品	965,165	852,453
減価償却累計額	△634,170	△602,682
工具、器具及び備品（純額）	330,995	249,771
土地	15,554	15,554
有形固定資産合計	1,196,240	1,010,145
無形固定資産		
ソフトウェア	46,104	55,771
電話加入権	9,616	748
無形固定資産合計	55,720	56,520
投資その他の資産		
投資有価証券	988	1,279
出資金	100	100
長期前払費用	131	7
敷金及び保証金	1,225,016	1,031,701
投資その他の資産合計	1,226,236	1,033,087
固定資産合計	2,478,197	2,099,754
資産合計	4,621,465	4,810,886

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	75,520	49,532
電子記録債務	405,604	247,935
買掛金	141,096	88,446
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
短期借入金	1,255,832	1,424,660
1年内返済予定の長期借入金	346,040	293,500
リース債務	70,533	53,780
未払金	70,002	65,418
1年内支払予定の長期未払金	28,951	26,403
未払費用	202,080	239,764
未払法人税等	30,444	28,219
未払消費税等	56,494	87,020
預り金	8,164	72,697
賞与引当金	17,636	24,102
資産除去債務	8,989	17,690
その他	2,300	2,200
流動負債合計	2,749,690	2,751,371
固定負債		
社債	60,000	30,000
長期借入金	662,380	903,880
リース債務	169,729	115,948
長期未払金	60,712	27,889
繰延税金負債	40,274	31,118
退職給付引当金	231,899	219,761
資産除去債務	252,458	296,578
長期預り保証金	8,500	6,000
固定負債合計	1,485,955	1,631,176
負債合計	4,235,646	4,382,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	716,354	716,354
資本剰余金合計	716,354	716,354
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△370,051	△388,303
利益剰余金合計	△370,051	△388,303
自己株式	△60,580	—
株主資本合計	385,721	428,050
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	97	287
評価・換算差額等合計	97	287
純資産合計	385,819	428,338
負債純資産合計	4,621,465	4,810,886

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当事業年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
売上高	8,324,337	6,834,130
売上原価		
商品期首たな卸高	1,478,411	1,268,376
当期商品仕入高	3,424,360	2,605,916
合計	4,902,772	3,874,292
商品期末たな卸高	1,268,376	1,200,375
売上原価合計	3,634,395	2,673,917
売上総利益	4,689,941	4,160,213
販売費及び一般管理費		
包装費及び運搬費	267,373	190,049
給料及び手当	1,621,705	1,207,151
賞与	56,389	29,048
賞与引当金繰入額	17,636	24,102
退職給付費用	22,997	27,788
地代家賃	1,780,695	1,473,764
減価償却費	226,604	198,950
その他	684,058	669,974
販売費及び一般管理費合計	4,677,461	3,820,831
営業利益	12,480	339,381
営業外収益		
受取利息	7	3
受取配当金	61	61
破損商品等弁償金	382	1,978
保険配当金	73	71
雑収入	4,553	11,069
営業外収益合計	5,078	13,184
営業外費用		
支払利息	35,609	48,828
社債利息	458	327
支払手数料	3,619	3,408
為替差損	3,530	232
雑損失	68	331
営業外費用合計	43,286	53,128
経常利益又は経常損失(△)	△25,727	299,436
特別利益		
助成金収入	—	59,921
特別利益合計	—	59,921
特別損失		
臨時休業による損失	—	153,348
固定資産除却損	233	16,246
店舗閉鎖損失	25,558	20,095
減損損失	276,004	108,794
特別損失合計	301,796	298,485
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△327,524	60,872
法人税、住民税及び事業税	30,000	27,800
法人税等調整額	△15,565	△9,256
法人税等合計	14,434	18,543
当期純利益又は当期純損失(△)	△341,958	42,329

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	100,000	716,354	—	716,354	△28,093	△28,093
当期変動額						
当期純利益又は当期 純損失(△)				—	△341,958	△341,958
自己株式の消却				—		—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)				—		—
当期変動額合計	—	—	—	—	△341,958	△341,958
当期末残高	100,000	716,354	—	716,354	△370,051	△370,051

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評 価 差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	△60,580	727,680	346	346	728,027
当期変動額					
当期純利益又は当期 純損失(△)		△341,958		—	△341,958
自己株式の消却		—		—	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)		—	△249	△249	△249
当期変動額合計	—	△341,958	△249	△249	△342,207
当期末残高	△60,580	385,721	97	97	385,819

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	100,000	716,354	—	716,354	△370,051	△370,051
当期変動額						
当期純利益又は当期 純損失(△)				—	42,329	42,329
自己株式の消却			—	—	△60,580	△60,580
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)				—		—
当期変動額合計	—	—	—	—	△18,251	△18,251
当期末残高	100,000	716,354	—	716,354	△388,303	△388,303

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評 価 差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	△60,580	385,721	97	97	385,819
当期変動額					
当期純利益又は当期 純損失(△)		42,329		—	42,329
自己株式の消却	60,580	—		—	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)		—	189	189	189
当期変動額合計	60,580	42,329	189	189	189
当期末残高	—	428,050	287	287	428,338

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△327,524	60,872
減価償却費	226,604	198,950
減損損失	276,004	108,794
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,173	6,465
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△9,468	△12,137
受取利息及び受取配当金	△68	△64
支払利息及び社債利息	36,068	49,155
為替差損益 (△は差益)	—	△14
店舗閉鎖損失	25,558	20,095
固定資産除却損	233	16,246
売上債権の増減額 (△は増加)	342,554	△24,941
たな卸資産の増減額 (△は増加)	256,990	68,400
仕入債務の増減額 (△は減少)	△597,917	△236,307
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,963	30,525
その他	△20,528	165,071
小計	186,369	451,113
利息及び配当金の受取額	68	64
利息の支払額	△36,795	△48,415
法人税等の支払額	△30,052	△30,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,589	372,738
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△110,061	△36,333
敷金及び保証金の差入による支出	△23,892	△5,203
敷金及び保証金の回収による収入	103,547	108,711
その他	△69,505	△124,315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,911	△57,141
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	176,232	168,828
長期借入れによる収入	50,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△487,710	△361,040
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
リース債務の返済による支出	△23,802	△70,533
割賦債務の返済による支出	△34,498	△35,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△349,778	221,881
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△330,101	537,492
現金及び現金同等物の期首残高	782,753	452,652
現金及び現金同等物の期末残高	452,652	990,145

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

1. 遵守事項

当社は、短期借入金のうち、動産担保融資契約に基づく600,000千円には遵守事項があり、その内容は次のとおりであります。

(1) 各事業年度末時点での貸借対照表における純資産額を2009年2月期決算期末時点の金額の75%以上(761,568千円以上)に維持すること。

(2) 各事業年度末時点での貸借対照表における棚卸資産の回転月数を2.0ヶ月以下に維持すること。

(3) 各事業年度末時点での経常利益について、2期連続でマイナスとしないこと。

当事業年度末においては、これらの遵守事項の一部に抵触いたしますが、取引銀行からは上記状況を認識いただいた上で、既存借入金の融資継続に応じていただいております。

2. 財務制限条項

当社は、長期借入金のうち、シンジケートローン(コミットメント期間付タームローン)契約(期末残高370,500千円)には財務制限条項が付されております。その内容は次のとおりであります。

(1) 2019年3月期決算以降、各年度の決算期の末日における単体の貸借対照表上の純資産の部の金額を2018年3月期決算期末日における単体の貸借対照表上の純資産の部の金額の75%以上に維持すること。

(2) 2019年3月期決算以降の決算期を初回の決算期とする連続する2期について、各年度の決算期における単体の損益計算書に示される経常利益が2期連続して損失とならないようにすること。

当事業年度末においては、これらの財務制限条項の一部に抵触いたしますが、取引銀行からは上記状況を認識いただいた上で、既存借入金の融資継続に応じていただいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、インテリア雑貨販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手がないため、記載はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社は、インテリア雑貨販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	26円10銭	28円98銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△23円14銭	2円86銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前事業年度は1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当事業年度は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△341,958	42,329
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△341,958	42,329
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,780	14,780

(重要な後発事象)

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令等による影響

2020年4月7日に発令された新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府の緊急事態宣言及びそれに伴う一部地方自治体の要請等に基づき、一部店舗において営業の休止等を実施しております。

なお、当該措置が翌事業年度の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に及ぼす影響について、現時点で合理的に算定することは困難であります。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令等による影響

2021年4月に発令された新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置、それに伴う一部地方自治体の要請等に基づき、一部店舗において営業の休止等を実施しております。

なお、当該措置が翌事業年度の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に及ぼす影響について、現時点で合理的に算定することは困難であります。

(参考) 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社ジーンズメイト 上場取引所 ー
 コード番号 ー URL https://www.jeansmate.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富澤 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 信治 (TEL) 03(6892)1850
 定時株主総会開催予定日 ー 配当支払開始予定日 ー
 有価証券報告書提出予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	5,512	△29.0	△472	ー	△467	ー	△822	ー
2020年3月期	7,769	△9.4	28	△69.0	35	△66.3	△37	ー

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△57.22	ー	△27.7	△12.3	△8.6
2020年3月期	△2.64	ー	△1.1	0.8	0.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	3,320	2,555	77.0	177.81
2020年3月期	4,307	3,378	78.4	235.03

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,555百万円 2020年3月期 3,378百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	△598	187	△48	604
2020年3月期	△185	△109	△43	1,063

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2020年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2021年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2022年3月期(予想)	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日~2022年3月31日)

株式会社ジーンズメイトは、2021年3月30日付で上場を廃止していることから業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	14,372,313 株	2020年3月期	16,101,466 株
② 期末自己株式数	2021年3月期	— 株	2020年3月期	1,728,417 株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	14,372,923 株	2020年3月期	14,373,149 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

株式会社ワンダーコーポレーション、株式会社HAPiNSおよび株式会社ジーンズメイトは、2021年4月1日をもって、共同株式移転の方式により3社の完全親会社となるREXT株式会社（読み：レクストかぶしきがいしゃ）を設立いたしました。

株式会社ジーンズメイトは所定の手続きを経て2021年3月30日付で上場廃止となり、2021年4月1日をもって、REXT株式会社の完全子会社となりました。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2020年4月1日から2021年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、企業収益の低下と個人消費の減退など厳しい状況が続きました。1度目の緊急事態宣言解除後は、経済活動に対する制限が徐々に緩和されたことで、一時的に緩やかな回復の兆しが見られたものの、年末にかけて同感染症の感染再拡大の懸念が顕在化し、2021年1月には都市部を中心とした一部地域について政府より2度目の緊急事態宣言が発出され、消費者の節約意識もより一層高まり加えてインバウンド需要も依然として戻らず、先行きは未だ不透明な状況にあります。

このような経営環境のもと、当社は今期より改めて非対面事業強化に向けてEC事業へ最注力し、物流体制を含めた運営体制の増強・情報発信及び販促施策への取組み強化・実店舗との在庫連携・グループ内会社との取組みによる専用商材の拡充等を行うことで、前年同期対比：147.2%（第4四半期会計期間前年対比では160.6%）と着実なEC売上増を達成いたしました。加えて前期より継続する、MD改革によるプライベートブランド（PB）商品強化に向け、話題性の高いキャラクターやタレントとのタイアップ商品の拡充や、新聞一面広告・WEB広告・折込みチラシ・プレスリリース配信等のプロモーションを積極的に行いました。また、売上高の減少に応じた仕入抑制に年間を通して継続注力することで仕入原価前年比：71.9%、期末在庫原価前年比：84.3%となりました。さらに、店舗運営人員のミニマム化・組織再編に伴う人員配置の適正化・グループ全体での横断的な各種経費に対する削減の取組み等に並行して注力し、販管費前年同期対比：78.3%となりました。

店舗展開におきましては、不採算店舗整理のため路面店・商業施設店舗合わせて15店舗を退店し、一方でマルチブランド型MDショップ「JEM」（ジェイ・イー・エム）業態1店舗と、「OUTDOOR PRODUCTS」業態1店舗を商業施設へ出店いたしました。これらの結果、当事業年度末の総店舗数は71店舗（うち催事契約4店舗、前年同月度末店舗数84店舗）となりました。

以上の結果、当事業年度における売上高は5,512百万円（前年同期比：29.0%減）、営業損失472百万円（前年同期は営業利益28百万円）、経常損失467百万円（前年同期は経常利益35百万円）、当期純損失822百万円（前年同期は当期純損失37百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べ987百万円減少し、3,320百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ544百万円減少し、2,331百万円となりました。これは主に未収入金が138百万円増加しましたが、現金及び預金が459百万円減少、商品が225百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ442百万円減少し、989百万円となりました。これは主に敷金及び保証金が304百万円減少、建物が103百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末の負債合計は、前事業年度末に比べ164百万円減少し、765百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ71百万円減少し、494百万円となりました。これは主に資産除去債務が31百万円増加しましたが、未払金が36百万円減少、未払住民税等が28百万円減少、買掛金が24百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ93百万円減少し、270百万円となりました。これは主に資産除去債務が59百万円減少、リース債務が24百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末に比べ822百万円減少し、2,555百万円となりました。これは主に当期純損失を822百万円計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前事業年度末に比べ459百万円減少し、604百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、598百万円となりました。これは主に税引前当期純損失が794百万円、棚卸資産の減少が225百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、187百万円となりました。これは主に敷金及び保証金の純収入が228百万円、資産除去債務の履行による支出が28百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、48百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出が48百万円となったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

(単位：%)

	2017年2月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	74.5	68.9	72.3	78.4	77.0
時価ベースの自己資本比率	66.3	244.2	125.1	76.1	105.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

(注3) 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利息を支払っている全ての負債を対象としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なおIFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応して行く方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,135,432	676,148
売掛金	194,476	192,057
商品	1,433,641	1,208,367
前払費用	72,619	54,286
未収入金	9,521	147,898
その他	30,592	52,744
流動資産合計	2,876,283	2,331,502
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,432,583	1,243,941
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,274,829	△1,189,664
建物（純額）	157,753	54,276
構築物	29,794	18,092
減価償却累計額及び減損損失累計額	△29,794	△18,092
構築物（純額）	—	—
工具、器具及び備品	687,070	579,048
減価償却累計額及び減損損失累計額	△660,046	△566,982
工具、器具及び備品（純額）	27,023	12,065
リース資産	88,044	91,643
減価償却累計額及び減損損失累計額	△83,579	△85,250
リース資産（純額）	4,464	6,393
建設仮勘定	17,204	—
有形固定資産合計	206,445	72,735
無形固定資産		
ソフトウェア	6,385	7,060
無形固定資産合計	6,385	7,060
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,210,560	906,196
長期未収入金	166,080	164,760
その他	8,115	3,170
貸倒引当金	△166,080	△164,760
投資その他の資産合計	1,218,675	909,367
固定資産合計	1,431,506	989,162
資産合計	4,307,790	3,320,665

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,525	166,040
リース債務	47,624	27,217
未払金	195,505	158,931
未払費用	31,107	43,433
未払住民税等	65,545	36,803
賞与引当金	19,505	17,069
事業構造改善引当金	—	374
店舗閉鎖損失引当金	2,081	—
資産除去債務	8,816	40,769
その他	4,923	3,452
流動負債合計	565,635	494,091
固定負債		
リース債務	36,903	12,559
資産除去債務	312,826	252,892
その他	14,350	5,523
固定負債合計	364,080	270,975
負債合計	929,715	765,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,338,387	100,000
資本剰余金		
資本準備金	2,448,009	4,686,396
資本剰余金合計	2,448,009	4,686,396
利益剰余金		
利益準備金	134,089	134,089
その他利益剰余金		
別途積立金	500,000	500,000
繰越利益剰余金	△781,044	△2,864,887
利益剰余金合計	△146,955	△2,230,798
自己株式	△1,261,365	—
株主資本合計	3,378,075	2,555,598
純資産合計	3,378,075	2,555,598
負債純資産合計	4,307,790	3,320,665

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当事業年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
売上高	7,769,514	5,512,601
売上原価		
商品期首たな卸高	1,504,664	1,433,641
当期商品仕入高	3,816,384	2,742,739
合計	5,321,048	4,176,381
商品期末たな卸高	1,433,641	1,208,367
商品売上原価	3,887,407	2,968,013
売上総利益	3,882,107	2,544,587
販売費及び一般管理費	3,853,771	3,017,337
営業利益又は営業損失(△)	28,335	△472,750
営業外収益		
受取利息	51	855
その他	7,623	5,101
営業外収益合計	7,674	5,956
営業外費用		
その他	603	546
営業外費用合計	603	546
経常利益又は経常損失(△)	35,407	△467,340
助成金収入	—	141,824
特別利益合計	—	141,824
特別損失		
本社移転費用	—	1,623
臨時休業等による損失	—	293,780
事業構造改善引当金繰入額	—	374
減損損失	27,681	127,094
固定資産除却損	—	7,155
特別退職金	—	28,103
店舗閉鎖損失	803	10,733
店舗閉鎖損失引当金繰入額	2,081	—
特別損失合計	30,567	468,866
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	4,840	△794,381
法人税等	37,653	36,803
法人税等調整額	5,106	△8,827
法人税等合計	42,759	27,976
当期純損失(△)	△37,919	△822,358

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計	
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	2,338,387	2,448,009	2,448,009	134,089	500,000	△743,125	△109,036	△1,261,326	3,416,034
当期変動額									
当期純損失(△)						△37,919	△37,919		△37,919
自己株式の取得								△39	△39
減資									-
自己株式の消却									-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△37,919	△37,919	△39	△37,959
当期末残高	2,338,387	2,448,009	2,448,009	134,089	500,000	△781,044	△146,955	△1,261,365	3,378,075

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	-	-	3,416,034
当期変動額			
当期純損失(△)			△37,919
自己株式の取得			△39
減資			-
自己株式の消却			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-
当期変動額合計	-	-	△37,959
当期末残高	-	-	3,378,075

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	2,338,387	2,448,009	2,448,009	134,089	500,000	△781,044	△146,955	△1,261,365	3,378,075
当期変動額									
当期純損失(△)						△822,358	△822,358		△822,358
自己株式の取得								△118	△118
減資	△2,238,387	2,238,387	2,238,387						-
自己株式の消却						△1,261,484	△1,261,484	1,261,484	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	△2,238,387	2,238,387	2,238,387	-	-	△2,083,842	△2,083,842	1,261,365	△822,476
当期末残高	100,000	4,686,396	4,686,396	134,089	500,000	△2,864,887	△2,230,798	-	2,555,598

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	-	-	3,378,075
当期変動額			
当期純損失(△)			△822,358
自己株式の取得			△118
減資			-
自己株式の消却			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-
当期変動額合計	-	-	△822,476
当期末残高	-	-	2,555,598

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当事業年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	4,840	△794,381
減価償却費	31,697	26,823
減損損失	27,681	127,094
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	—	347
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,430	△1,320
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△56,512	△2,436
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	2,081	△2,081
受取利息及び受取配当金	△51	△855
有形固定資産除却損	—	6,975
売上債権の増減額 (△は増加)	90,544	2,418
たな卸資産の増減額 (△は増加)	71,022	225,274
仕入債務の増減額 (△は減少)	△221,447	△24,484
助成金収入	—	△141,824
未払金の増減額 (△は減少)	△28,576	△18,005
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,939	△15,710
その他	△44,729	△65,378
小計	△149,818	△677,544
利息及び配当金の受取額	51	855
助成金の受取額	—	112,080
違約金の支払額	—	3,695
法人税等の支払額	△35,700	△37,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	△185,468	△598,566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△78,544	△6,059
無形固定資産の取得による支出	—	△4,192
資産除去債務の履行による支出	△1,602	△28,042
敷金及び保証金の差入による支出	△51,326	△4,513
敷金及び保証金の回収による収入	29,663	232,823
その他	△7,755	△2,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△109,565	187,675
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△39	△118
リース債務の返済による支出	△43,771	△48,350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,810	△48,468
現金及び現金同等物に係る換算差額	△74	74
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△338,919	△459,284
現金及び現金同等物の期首残高	1,402,352	1,063,432
現金及び現金同等物の期末残高	1,063,432	604,148

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

株式会社ジーンズメイトは、前述のとおり株式会社ワンダーコーポレーション、株式会社HAPiNSの3社で共同株式移転の方式により、3社の完全親会社となるREXT株式会社を設立し2021年4月1日に上場するとともに、株式会社ジーンズメイト単体としては2021年3月30日に上場を廃止いたしました。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)及び当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社は衣料品販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	235円03銭	177円81銭
1株当たり当期純損失(△)	△2円64銭	△57円22銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純損失		
当期純損失(△)(千円)	△37,919	△822,358
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△37,919	△822,358
普通株式の期中平均株式数(株)	14,373,149	14,372,923

(重要な後発事象)

該当事項はありません。